



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



まちづくり協議会で汗を流す方の、まちづくりへの参画のきっかけ、想いなどを紹介します。

吉浜まち協 都築正治さんからバトンタッチ!

—○南部まち協 神谷法穂^{のりほ}さん

(副理事長 兼 公民館グループリーダー)



▲神谷法穂さん

◆神谷さんがまちづくりに関わるようになったきっかけを教えてください。

町内会副会長をしていたときに、会長から「公園整備に協力してほしい。」と言われたことがきっかけでした。そのときは、私自身も、まち協のことや自分がまち協の中で、どんなことで役に立てるのか、あまりわかっていませんでした。

それから10年の時が経ち、今では副理事長までさせていただいています。

◆南部まち協設立当初からメンバーの神谷さん、昔と今を比べてまち協や地域はどう変わりましたか。

今では、多くの事業を実施している南部まち協も設立当初は、チャレンジド支援と公園管理の2事業だけでした。私は当初、公園管理グループとして、二池町にある外淵公園の清掃・美化活動などをしていました。洲崎公園にいたっては、最初、花壇などもなく草が生い茂っていましたが、きれいにするため、毎日のように仲間と汗を流し整備してきました。今では南部地区の3公園を多くの仲間がきれいに守ってくれています。

それから事業もしだいに増え、いきがいグループの介護予防の一環としている「男のレシピ研究会」では、初めはプロの講師を招いて料理を習っていましたが、今では自分たちでインターネットからメニューを探して作るまでになりました。

昔と比べ、まちも人も変わってきました。しかし多くの人々とのつながりを大切にしながら、着実にまちづくりは進んできたと思います。そして、これからもたくさんの仲間といっしょに歩み続けていきたいです。



▲書道教室では先生!



▲男のレシピ研究会

◆南部まち協10周年を迎えるにあたり、神谷さんの「こんなまちにしていきたいな」を教えてください!

南部まち協には、色々なことを立案し、実行していく力があります。来年度は10周年を記念する事業も実施していきたいと考えています。今までやってきたことを次世代に引き継いでいけるよう「大家族 南部」で、がんばっていきたいです。

特派員2期生 任期の最終年度を迎え… 南部まち協特派員からのメッセージ

■杉浦義人チーフ 特派員の活動を通じて地域の方々からいろいろなことを勉強させていただきました。とても充実した3年間であったと思います。任期を終えても、引き続きいろいろと学ばせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

■東文彦特派員 「特派員」という肩書を背負って最初はガチガチに肩に力が入っていた私ですが、話す機会が増えていくたび、まち協の方々から温かく受け入れていただきました。市職員として今までと違った視点で地域を見ることができた貴重な体験になったと思います。

■福井大地特派員 議論だけでなく行動に移すエネルギーと、それを周りの人に伝播させ、次々に仲間を作っていきパワーを持つ南部まち協。3年間で感じたこのエネルギーとパワーをこれからの活動に活かし、いっしょに地域を盛りあげていきたいです。

■神谷勝弘特派員 私のことは知らなくても私の家族のことを知っているまち協の方にかわいがってもらったりして地域の繋がりを感じ、その自分分も地域のために頑張ろうと思えました。単純ですが「大家族たかほま」の基本はそういうことなんだと思いました。



▲(左から)杉浦義人チーフ、東文彦特派員、福井大地特派員、神谷勝弘特派員

※まち協特派員…行政職員の所属部署に関係なく、チーフ1名(管理職)を含む4名の特派員により、小学校区ごとにチームを編成し、まちづくり協議会の会合への出席や活動のサポートなどを行います。任期は3年。